

PDF 版 : <http://www.lib.u-tokyo.ac.jp/koho/kanpo/>

目 次

オリエンテーション特集	附属図書館報編集委員会	25
1. 図書館を使う		
駒場図書館と総合図書館		28
図書館利用証について		29
入館・退館するには		30
利用者 ID と Web リクエストサービスについて		31
2. 資料を探す		32
3. 資料を使う		36
4. コンピュータを使う		41
5. 図書館を使うためのエチケット		43
6. 部局図書館(室)を使う		44
7. 学外の図書館を使う		45
8. 図書館を使うときの Q & A		46
9. 東京大学で利用できる文献収集に役立つ主なデータベース		48
10. 平成 16 年度春季附属図書館オリエンテーションのお知らせ		50
図書館(室) ニュース		47
落合卓四郎元館長を送る	附属図書館事務部長 笹川郁夫	52

オリエンテーション特集号

新入生の皆さんご入学おめでとうございます。「図書館の窓」は、東京大学の学生・教職員の皆さんに、図書館のサービスや所蔵する図書、雑誌等についてお知らせする「広報誌」です。4月号では、新しく東京大学の学生となった皆さんや本郷に進学された皆さんに、図書館の使い方についてご紹介する「オリエンテーション特集」を企画しました。

図書館では何ができるのか

図書館には、公共図書館、大学図書館、国会図書館等いくつかの種類があります。公共図書館は、地域の住人に娯楽や学習の便宜を提供しますが、大学図書館は、学生の学習と研究者の研究を支援することが使命です。そのため、大学図書館には娯楽のための図書・雑誌はほとんどなく、それぞれの学問分野で基本となる図書・雑誌や、最先端の研究に必要な学術資料を収集し、閲覧、貸出や複写等のサービスを行っています。

音楽 CD や文庫の小説等は、本学の図書館ではほとんど利用できません。しかし、基礎的な学術書や学術雑誌、学会誌等はできる限り網羅的に収集していますし、学部や研究所の図書館（室）を中心に各分野の洋書等も揃えています。最近インターネットを通して利用できる「情報」も増えています。そのためのコンピュータも用意されています。求める資料が東大にない場合には、他大学や海外にある資料を使うための仕組みも用意されています。また、図書館のサービスを自分自身で使いこなすための様々なガイダンスも頻繁に行っています。

東京大学の図書館とは



駒場図書館

東京大学には、新入生と本郷への進学生の皆さんが主に使う駒場図書館と総合図書館、今年度から開館する千葉県の柏キャンパスにある柏図書館、さらに各学部や研究所に属する 52 の図書館（室）があります。これらを総称して、「東京大学附属図書館」と呼んでいます。駒場図書館・総合図書館・柏図書館は、全学的な組織として運営されています。学部・研究所の図書館（室）は、それぞれの学部や研究所の管理の下で独自に運営されています。本学の情報基盤セ

ンターにある「図書館電子化部門」も「情報」の提供の面から附属図書館とともにサービス活動を行っています。

附属図書館は全体で、約 800 万冊以上の図書を所蔵し、約 38,000 種類の雑誌と年間約 14 万冊の図書を受け入れている国内でも最大規模の大学図書館です。

学部や研究所の図書館（室）は主に研究図書館として学部・研究所のスタッフに「固有のサービス」を提供しています。所蔵している資料やデータベースも研究に必要な専門的なものがほとんどです。駒場・総合・柏の 3 図書館は、学習図書館として主に学部学生や大学院生の皆さんに基本的な「学習・情報サービス」を提供するため、学部の授業や学習に必須の基本的な図書や全学的に利用の多いデータベース等を収集しています。



総合図書館

一方、学習図書館と研究図書館が一体となった「東京大学附属図書館」として、「共通のサービス」も提供しています。「共通のサービス」には駒場・総合・柏図書館や大部分の図書館（室）で共通な「東京大学附属図書館利用証」の発行や、ホームページを利用した図書の購入や複写の申し込み、図書・雑誌の検索システム等があります。開館時間や閲覧・貸出のための規則等はそれぞれの図書館（室）で独自に定めており、「固有のサービス」と言えるでしょう。

このように東大の図書館は、「固有のサービス」と「学習・情報サービス」、「共通のサービス」からなる多様な形態で運営されています。

東京大学附属図書館は大規模で多様な組織ですが、こうした複数の枠組みからなるサービスを使い分ければ、国内でも最大規模の資料・情報が使える「知の宝庫」です。また、皆さんの学習や知的活動を支援するため、国立大学（法人）では最大規模の220名余りの図書館職員が在籍しています。

ぜひ、この膨大な資料と先端的な情報サービス、スタッフを使いこなして、有意義な学生生活を送るために必須の「知の収集」のスキルを身につけてください。なお、この後の本文では、皆さんが主に使われる駒場図書館と総合図書館についてご説明していきます。



柏図書館

1. 図書館を使う

駒場図書館と総合図書館

駒場図書館

駒場図書館は、前期課程の皆さんの授業や学習をサポートする図書館で、幅広い分野の学習用図書と自習環境を用意しています。資料の探し方や利用方法、学内の他の図書館（室）について等、わからないことがありましたら、お気軽にカウンターにご相談ください。

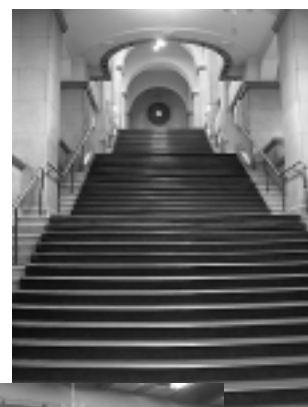
平成 14 年 10 月に開館したばかりの駒場図書館は明るく開放的な建物で、真っ白な外壁を斜めに横切る縦長の窓が特徴です。館内には自然光が差し込む光廊下（吹き抜け）や、現代美術品が飾られたスペース、開放的なラウンジ等があります。4・5 階の窓際の席からは新宿方面の夜景も楽しむことができます。



総合図書館

総合図書館は、東京大学最大の図書館で、全学の学生・教職員をサービスの対象としています。一般的な資料のほか、南藝文庫や霞亭文庫等の多くの貴重書類や、国際機関資料等を所蔵しています。

現在の建物は、関東大震災の後、アメリカのロックフェラー財団からの援助を受けて昭和 3 年に再建されたもので、堅牢な耐震設計のおかげで逆さにしても崩れないとまで言われています。図書の背を模したと言われる建物正面のデザインや、玄関から 3 階までを貫く赤絨毯が敷き詰められた大階段、現在閲覧室になっている貴賓室の調度等には、東京大学の歩んできた歴史を感じることができます。



図書館利用証について

利用証とは

駒場図書館、総合図書館の入館や貸出には、「東京大学附属図書館利用証」(以下、「利用証」という)が必要です。また、この利用証を使って他の多くの図書館(室)でも図書の貸出が受けられます。「利用証」は、東京大学の図書館(室)を利用するためには欠かすことのできないカードです。



東京大学附属図書館利用証

新規発行

前期課程1年生の方には、入学手続きのときに利用証を発行し、お渡ししています。学部3年生や大学院から初めて東京大学に来られた方は、所属部局の図書館(室)や、駒場図書館、総合図書館で発行しますので、カウンターにお申し出ください。

有効期限の更新

利用証には有効期限があります。学生証(および身分証明書)の有効期限と同じですので、進学等で学生証が変わったときには更新が必要です。前期課程の方の有効期限は、3年生に進学する年の4月30日までになっていますので、更新の時期にご注意ください。

登録情報の更新

利用者登録後、所属や連絡先(住所・電話番号・メールアドレス等)に変更があった場合は、必ずカウンターまで届け出てください。

再発行

利用証をなくしてしまった場合、再発行をして前の利用証が不正に使用されないよう手続きをします。カウンターにお申し出ください。受付日から一週間後、学生証の提示と引き換えに新しい利用証をお渡しします。

手続に必要なもの		
新規発行	学生証等	利用証 交付 申請書
更新	学生証等・利用証	
再発行	学生証等	

カウンターにありますのでご記入ください。

入館・退館するには



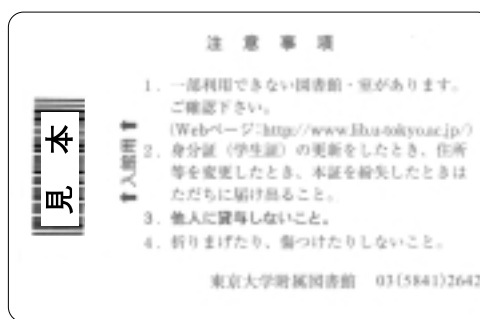
駒場図書館入館ゲート

駒場図書館と総合図書館の玄関には、入館用・退館用のそれぞれの通路（ゲート）があり、逆向きに通行することはできません。後から入館・退館する方のことを考えて、ゲートを通してすぐのところでは立ち止まらず、出口を広く開けてくださるようお願いいたします。

入館する

図書館に入るときには、利用証が必要です。裏面のバーコードを入館システムに読み取らせると、ゲートが開いて入館できます。

利用証の有効期限が切れている場合や、入館用バーコードが汚損している場合には、エラー音が鳴ってゲートが開きません。入館できないときはカウンターでご相談ください。



入館用バーコード（利用証裏面）

退館する

図書館から出るときには、利用証は必要ありません。そのまま退館ゲートをお通りください。

図書館資料を館外へ持ち出す場合には、必ず貸出手続きを済ませてください。誤って貸出手続きをしないまま退館しようとする、ブザーが鳴ってゲートがロックされ、退館できなくなります。職員が事情をお聞きしますので指示に従ってください。

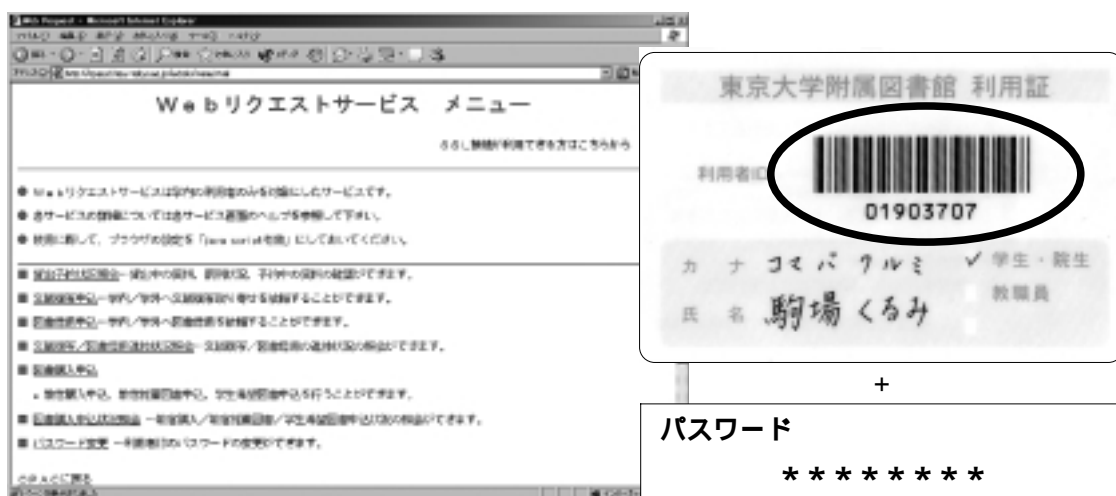
他の図書館の資料やビデオテープ、金属製品等をお持ちの場合には、ゲートが誤作動することがあります。お手数をおかけしますが、原因の特定にご協力ください。



利用証の読み取り（入館ゲート）

利用者 ID と Web リクエストサービスについて

図書館の利用証の表面には、8桁の数字（利用者 ID）とバーコードが印刷されています。この利用者 ID と事前に登録したパスワードがあれば、大学や自宅のコンピュータから「Web リクエストサービス」を利用でき、自分の利用状況の照会や、貸出中圖書の予約、駒場図書館・総合図書館の図書購入申し込み等がいつでも行えます。



(URL : <http://opac.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/uxbok/menu.html>)

パスワードについて

最初の利用のときには、初期パスワードをお知らせしますのでカウンターまでお申出ください。初期パスワードはできるだけ早く自分の好きな言葉に変更することをお勧めします（Web リクエストサービスのトップ画面からパスワード変更ができます）。また、利用者 ID とパスワードの管理についてはくれぐれもご注意ください。

その他の Web リクエストサービス

Web リクエストサービスを使って、学内外の図書館資料の文献複写や図書借用の申し込みをすることもできます。ただし、駒場図書館や一部の部局図書館（室）では学部学生は依頼できない等、利用条件等が異なる場合がありますので、あらかじめ所属図書館（室）にお問い合わせください。

2 . 資料を探す

自分の求めているテーマに合った資料を集めるにはどうしたらよいのでしょうか。効率よく上手な資料探し、まずは「GACoS」(ガコス)から始めてみましょう。

(<http://www.lib.u-tokyo.ac.jp/dl/gacos/index.html>)

資料探しのポータルサイト「GACoS」(ガコス)

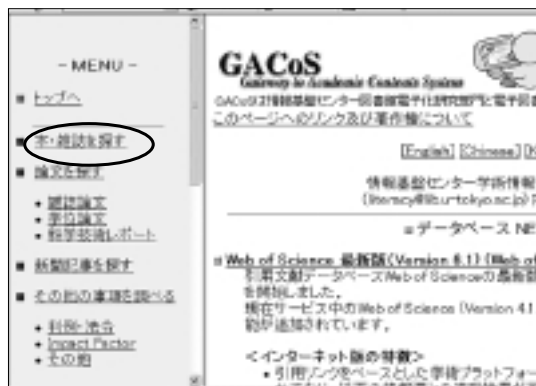
GACoSとは "Gateway to Academic Contents System" で、学術情報へのポータル(玄関)となってくれるサイトです。このサイトの注目点は、資料探しに使う様々なデータベースを、内容や目的によって選べるようになっていること。つまり、「自分の欲しい」資料探し、GACoSのメニューを使えば簡単に実現できるのです。



もちろん資料を探す手段はデータベースだけでなく、冊子やカードといった印刷体のももあります。ここからはGACoSのメニューをもとに、その他のツールも交えて探し方を説明しましょう。

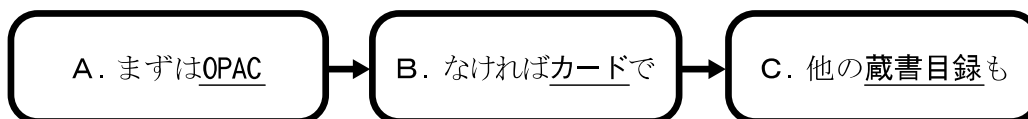
「図書、雑誌」を探す

東京大学には約800万冊以上の図書、雑誌があります。また、一口に「東京大学」と言っても、学内には55の図書館があるのです。更に、東京大学以外の様々な図書館にも、数多くの資料が所蔵されています。資料をスムーズに探すためのポイントをおさえましょう。



タイトルや著者名から探す：蔵書目録を使う

ある言葉をタイトルに持つ、もしくは著者名から図書や雑誌を調べたいときは、図書館で持っている図書や雑誌のリスト＝蔵書目録を使います。



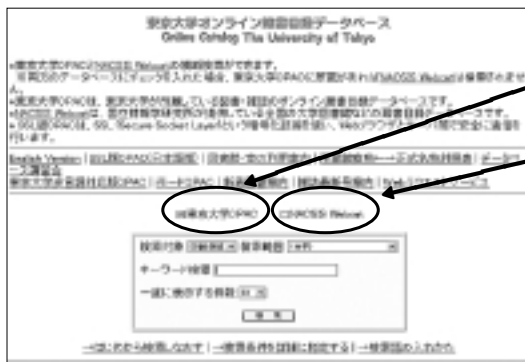
蔵書目録を使うときの3ステップ

A . OPAC : オンライン蔵書目録データベース (<http://opac.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/>)

雑誌と、1986年以降に受け入れたほとんどの図書を書名や著者名から検索できます。それ以前の図書も入力が進みつつあり、現在東大の全蔵書のうち630万冊がOPACで検索できます。携帯電話版(iモード、ポータフォンライブ!)もあります。

(<http://mg.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/opac/i/>)

・OPAC 検索時のポイント：「東京大学」が「全国の大学図書館」か、選びましょう



東京大学の蔵書を調べたいときは「東京大学 OPAC」へチェック
全国の大学図書館の蔵書も調べたいときは「NACSIS Webcat」へチェック

(2つにチェックしたときは両方とも検索し、OPAC を優先して結果表示します)

・OPAC 結果表示の見方のポイント1：まず「所在(場所)」と「請求記号」に注目

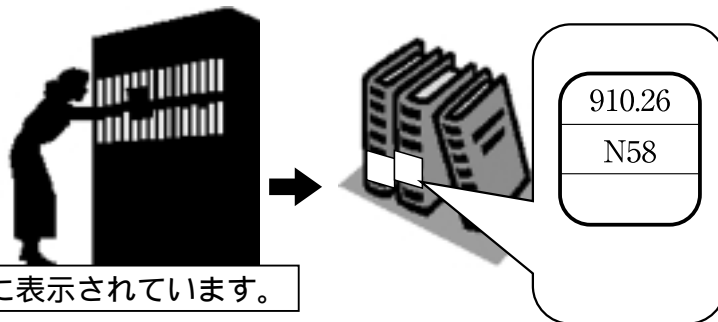
「所在(場所)」：この図書や雑誌を所蔵する図書館(室)の略称です。ここをクリックすると、リンクが張られている場合は詳しい利用案内を表示します。



「総合図」：
総合図書館にある資料です
「教養図」：
駒場図書館にある資料です

請求記号をメモして書架へ！

「請求記号」：資料の背に表示されたラベルの記号を「請求記号」といいます。図書や雑誌は請求記号順に書架に並んでいますので(請求記号を持たずに、書名順に並べてある図書館(室)もあります)、必ずこれをメモして探しに行きましょう。



請求記号は背に表示されています。

・OPAC 結果表示の見方のポイント2：雑誌は「所蔵巻号」と「コメント」にも注意

「所蔵巻号」：この雑誌の何号を所蔵しているかを表しています。末尾の"+ "は、継続して受入中であることを意味しています。

「コメント」：資料の場所や請求方法についての注意事項等が注記されています。

所蔵巻号	年次	所在	請求記号	コメント
1969-1971, 1973-1988, 1988, 1990-1991, 1993-1994, 1996-1997, 1999-2001, 2003-2004+	1969-2004	総合図・書庫	ZA1300	最新版は参考室
1949, 1951, 1958, 1965-1967, 1972, 1983, 1988-1989, 1991-2004+	1949-2004	社情研・図	Y-w14	総合図書

B . カード：全学総合目録カード（総合図書館1階参考室）

1986年までに東大で受け入れた図書の蔵書目録です。洋書と和漢書別に、著者名から図書を探することができます（特定の著者がいない図書は、書名から探せます）。

C . その他の蔵書目録

冊子体目録：総合図書館1階参考室と、駒場図書館参考図書コーナー（3階 / B 1階）には、学内外の図書や雑誌を調べるための各種目録があります。

内容から図書を探す：ブックコンテンツを使う

(<http://contents.lib.u-tokyo.ac.jp/contents/top.html>)

図書の「目次情報」や「内容情報（要旨・帯・カバーからの情報）」から検索できるデータベースです。図書のタイトルや著者等から検索できるOPACに比べ、より探している内容に迫った図書を探することができます。



「論文」を探す

ところで、「論文」とは？

研究者の多くはまず自分の研究成果である論文を、主に雑誌に発表します。また分野において業績を上げたとき、これまでの論文を収集したものが論文集という図書の形で刊行されたりすることもあります。つまり「論文」とは「図書や雑誌の"中身"」に相当しますので、図書や雑誌の場合とは少し違った方法で探す必要があるのです。それでは、具体的に論文を探すツールをご紹介します。

論文を探してみる

「論文」といっても、実はGACoSのメニューにある通りいくつかの種類がありますが、一番多いのは雑誌論文です。今回はこのボタンをクリックします。



・日本語の雑誌論文は、まず「雑誌記事索引」で

日本語の雑誌論文を探すための、最も有名なデータベースの一つです。日本の学術雑誌（約10,000誌）に掲載された論文について、1969年からのデータを検索することができます。

・日本語も欧文もまとめて論文検索、OPAC や電子ジャーナルにもリンク！
「FELIX」(フェリックス)



メニューから雑誌記事索引を選んだのに、画面には「FELIX」の文字。おや、と思われたかもしれませんが、実はこの「FELIX」は、よりスムーズな論文探しを可能にしてくれるシステムなのです。

「FELIX」では、日本語の論文を探すための雑誌記事索引だけでなく、欧文の雑誌論文を探すためのデータベース SwetScan (1995年～の全分野)、PCI (1880～1990年の人文・社会系分野)を統合検索することができるほか、特定の雑誌についての目次を一度に表示させることもできます。

また、結果表示画面にある「学内所蔵検索」をクリックすれば、直接その論文が掲載された雑誌をOPACで検索し、結果を表示してくれます。さらに「電子ジャーナル検索」をクリック

すると、そのままパソコン上で論文まで読むことができるのです。論文の情報だけでなく、論文の本文に到達できるまで資料探しをサポートしてくれるツール、それが FELIX です。

パソコンから雑誌論文が読めます「電子ジャーナル」

OPAC を検索したとき、こんなボタンがついているのを見たことがありませんか。また上に紹介した「FELIX」でも、「電子ジャーナル(検索)」という言葉が出てきました。

E-Journal = 「電子ジャーナル」は、学術雑誌を電子化し、コンピュータのディスプレイ上で見られるようにしたものです。電子ジャーナルをもっと使ってみたい人は、GACoS メニュー内の「電子ジャーナル」をクリックしてみましょう。

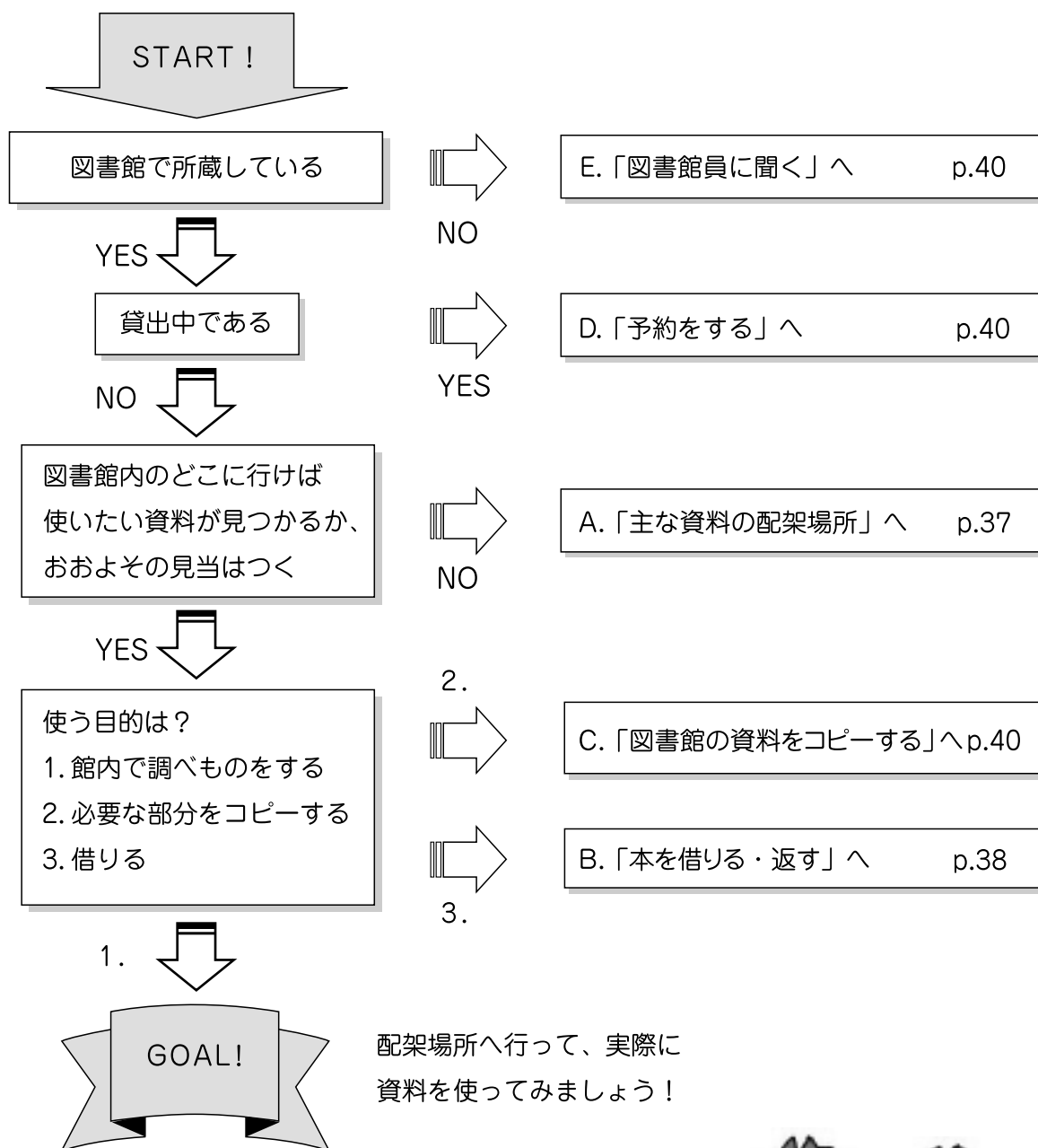
「資料の探し方」については、もっと詳しいパンフレットが図書館内にあるほか、定期的に講習会も開催されています。ぜひ図書館に足を運んでくださいね。



3 . 資料を使う

東京大学附属図書館では、図書・雑誌・新聞や貴重書・視聴覚資料等、さまざまな資料を所蔵しています。ここでは、館内で調べものに利用する・借りる・必要な部分をコピーする...等、目的に応じて、図書館の資料を上手に利用する方法をご紹介します。

使いたい資料を OPAC や目録カードで検索した結果...



A．主な資料の配架場所

図書館資料で皆さんがよく使うのは、おそらく開架図書、雑誌・新聞、そして参考図書（辞書や事典、白書等、主に調べものに使われる資料）でしょう。駒場図書館と総合図書館の主な資料の配架場所は、下の図のようになっています。実際に図書館へ行く前に、自分の使いたい資料がどの階にあるのかチェックしてみましょう。

駒場図書館		総合図書館		
和書（情報・哲学・社会科学・自然科学等）	5階	4階	和書（情報・芸術・文学等） 洋書（全分野）	
和書（工学・芸術・文学等）	4階	3階	和書（哲学・社会科学・自然科学・工学等）	
参考図書	3階	2階	参考図書（索引・地図等）	
新着雑誌・新聞	2階	入退館ゲート カウンター	1階	参考図書（事典・白書等） 新着雑誌・新聞
和書（研究用図書）	1階			
洋書（全分野） 参考図書（旧年度分等） 雑誌バックナンバー	地下1階		書庫 （地下1階、 1～6階）	洋書，和書，漢籍，特殊文庫，貴重書等 雑誌バックナンバー 利用の少ない新着雑誌

部分の資料を使うには カウンターでの手続きが必要です！

< 駒場図書館 地下1階 >

防災上の理由により、カードキー（駒場1の常勤教職員は身分証）での入室となります。学部学生の方は、貸出・返却カウンター（2階）で入室手続きをしてください。

< 総合図書館 書庫 >

書庫資料の閲覧は、書庫・雑誌カウンター（1階）でお申し込みください。教官・大学院生・後期課程学生・館長特別許可者は書庫に入ることができます。

B . 本を借りる・返す（学部学生の場合）

貸出をする資料や冊数・期間等は、各図書館（室）によって異なります。

返却期限を過ぎると罰則がつき、遅れた日数分だけ貸出停止になります。また、延滞中は貸出ができません。期限内に読みきれないときは、延長手続きをご利用ください。

開架図書

	必要なもの	手続きの場所	冊数・期間等
借りる	・利用証 ・借りたい図書	< 駒場図書館 2階 > 貸出・返却カウンター または自動貸出機 < 総合図書館 > 開架図書カウンター（1階） または自動貸出機（1・3階）	5冊・2週間
延長する 貸出を	・利用証 ・延長したい図書 （返却期限内のもの）	< 駒場図書館 2階 > 貸出・返却カウンター < 総合図書館 1階 > 開架図書カウンター	予約者がいなければ、手続きをした日から2週間延長されます。 < 駒場図書館 > 2回まで < 総合図書館 > 1回まで
返す	・返却する図書		カウンターサービス時間外は、ブックポストへ

雑誌・新聞

< 駒場図書館 > 借りられません。館内をご利用ください。

< 総合図書館 > 製本雑誌... 1週間、未製本雑誌... 当日貸出のみ

雑誌の貸出冊数は条件により異なりますので、利用案内やカウンターでご確認ください。

参考図書... 借りられません。館内をご利用ください。

書庫資料 < 総合図書館 >

貸出・返却とも、書庫・雑誌カウンター（1階）で手続きしてください。

貸出冊数・期間は資料の種類により異なりますので、利用案内やカウンターでご確認ください。

カウンターサービス時間外でも、緊急の場合は受付（1階入退館ゲート脇）で返却できます。デリケートな書庫資料の破損を防ぐため、ブックポストには入れないようご協力ください。

借りるところ・返すところ

貸出 は、自動貸出機 でも
カウンター でもできます。



- < 駒場図書館 >
2階 (貸出・返却カウンター向かい)
- < 総合図書館 >
1階・3階

< 駒場図書館 貸出・返却カウンター >



< 総合図書館 開架図書カウンター >



返却 する図書も、借りたときと同じカウンターへお持ちください。

カウンターサービス時間中にブックポストに入れると、当日中の返却処理が
できなくなります。



< 駒場図書館 >
2階 入口脇

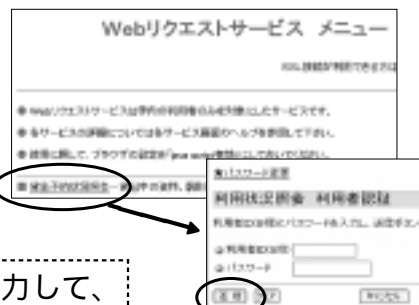
カウンターサービス時
間外の返却は、ブック
ポストへ。



書庫資料は
入れないで!

< 総合図書館 >
1階 入口脇

返却期限を忘れたときや、予約した本の状況を知りたいときは、「Webリクエストサービス」の「貸出予約状況照会」を使うと便利です。



手順1) 「貸出予約状況照会」をクリック

手順2) 利用者IDとパスワードを入力して、「送信」ボタンをクリック

手順3) あなたの貸出資料・罰則状況・予約資料の一覧が表示されます

4 . コンピュータを使う（駒場図書館、総合図書館）

図書館にはどんなコンピュータがあるのでしょうか。また、自分の使っているパソコンを持ち込み利用したいときはどうすればよいでしょうか。ポイントをまとめました。

図書館に設置されたコンピュータ

駒場図書館

メディアパーク（2階） 利用時間：開館時間と同じ
情報基盤センター・教育用計算機システム（ECCS）
 のアカウント¹でログインできるコンピュータが設置されています。

- ・オンラインデータベースや電子ジャーナルの利用も可能です。
- ・全てのコンピュータでUSBが、またコンピュータによってはCD-RW、フロッピーディスクが使用可能です。
- ・プリペイドカード方式のプリンタで印刷ができます。



メディアパーク（2階）

総合図書館

インターネットにつながったコンピュータはメディアプラザ ~ に設置されていますが、利用対象者や利用方法が異なります。

メディアプラザ（1階）

入口受付へ申し出てください。利用証と引き替えにお渡しするI-key（USBキー）を使って、利用することができます。

- ・オンライン / CD-ROM データベース、電子ジャーナル等も利用できます。
- ・フロッピーディスクが使用できます。
- ・プリンタがないため、印刷はできません。



メディアプラザ（1階）

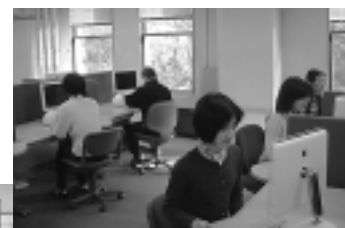


I-Key

メディアプラザ（2階）（3階）

情報基盤センター・教育用計算機システム（ECCS）のアカウント¹でログインできるコンピュータが設置されています。

- ・オンラインデータベースや電子ジャーナル利用も可能です。
- ・全てのコンピュータでUSBが、またコンピュータによってはCD-RW、フロッピーディスクが使用可能です。
- ・プリペイドカード方式のプリンタで印刷ができます。



メディアプラザ（2階）



メディアプラザ（3階）

自分のパソコンの持ち込み利用**有線 LAN サービス 駒場図書館：3階（一部）・1階の閲覧席**

電源コンセントおよびLANケーブルが設置されています。

- ・オンラインデータベースや電子ジャーナルの利用も可能です。
- ・情報基盤センター・教育用計算機システム（ECCS）のアカウント¹を持っている方が利用できます。
- ・パソコンの設定等は、自分で行ってください。

有線 LAN サービス 総合図書館：メディアプラザ（2階）手前スペース

情報コンセントが設置されています。

- ・オンラインデータベースや電子ジャーナルの利用も可能です。
- ・情報基盤センター・教育用計算機システム（ECCS）のアカウント¹を持っている方が利用できます。
- ・ネットワークケーブル(UTPのLANケーブル)の用意やパソコンの設定等は、自分で行ってください。

無線 LAN サービス 総合図書館**利用可能エリア：参考室（1・2階）、閲覧室2階、メディアプラザ ～**

- ・オンラインデータベースや電子ジャーナルの利用も可能です。
- ・情報基盤センター・教育用計算機システム（ECCS）のアカウント¹を持ち、さらにセンターへ無線 LAN 実験参加申し込み²した方が利用できます。
- ・無線 LAN カードの貸出は行っていませんので、自分で用意してください。
- ・パソコンの設定等は、自分で行ってください。

1 情報基盤センター・教育用計算機システム（ECCS）のアカウントについて

- ・アカウント取得についての詳細は、以下のサイトを参照してください

<http://www.ecc.u-tokyo.ac.jp/guide/tebiki/index.html>「利用の手引き(システムの利用にあたって)」

<http://www.ecc.u-tokyo.ac.jp/guide/faq/faq2.html>「教育用計算機システム FAQ」

- ・パスワードを忘れてしまった人は、情報基盤センター4階、または情報教育棟1階の事務室へ行ってください。

2 無線 LAN 実験参加申し込みについて

- ・申し込みについての詳細は、<https://secure.ecc.u-tokyo.ac.jp/>を参照してください。

その他**駒場図書館・総合図書館**

携帯電話での通話は全館禁止です。

総合図書館

携帯端末、電卓、電子辞書等を持ち込み利用するときは、次のエリアで利用してください。**1・2階全エリア、メディアプラザ ～**

5 . 図書館を使うためのエチケット

図書館をみんながお互いに気持ちよく使うために、次のマナーを守ってください。

基本的エチケット

- ・ 図書館内は、決められた場所以外は禁煙、飲食禁止です。
- ・ 図書館は静かに勉強する場所です。携帯電話での通話は禁止、私語は慎みましょう。
- ・ 図書館内にはコンピュータを使える場所や、情報収集のためのデータベース講習を開催している場所があります。図書館の施設、サービスを使い分けてください。
- ・ 図書館利用証を他人に貸したり、他人から借りたりしないでください。
- ・ 座席には限りがあります。不在時の座席取りや必要以上のスペースの確保は遠慮してください。

資料の利用について

- ・ 資料への書き込み、切り抜き等は厳禁です。
- ・ 資料を有効に使うために、他に利用したい人のためにも返却期限は守ってください。
- ・ 利用の終わった資料は元の場所にきちんと戻してください。

図書館資料のコピーと著作権 Fair Use が前提

資料（著作物）には著作権があるので、勝手にコピーはできません。大学図書館では著作権法第31条に基づいてコピーサービスを行っています。図書館の資料は調査研究のために一人一部、著作物の一部分（図書では一冊の半分以下の量）のコピーができます。最新号以外の雑誌論文は、一論文全部をコピーすることができます。コピーの際には所定の文献複写申込書への記入が必要です。

電子ジャーナルや電子図書（eBook）等電子媒体の資料についても東京大学と提供している出版社との間で、不正利用の防止等を含めた利用上の取り決めを交わしています。ダウンロードや印刷するとき、次のことを必ず守ってください。

- ・ 個人の学術研究、教育目的であること
- ・ 私的利用の範囲に止めること、電子媒体による第三者への流通は禁止
- ・ 機械的かつ継続的ダウンロードは行わないこと

不正利用が行われると、事前の警告なしに東京大学全体が利用を停止させられるという事態が発生する恐れがあり、大勢の利用者に多大な迷惑がかかります。

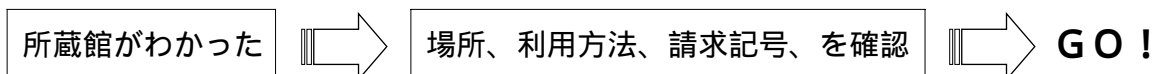
ネチケット（ネットワークエチケット）

学習、研究のための文献調査にデータベースやインターネットを使うときにも、ルールやマナーを守ってください。

- ・ ネチケットホームページ <http://www.cgh.ed.jp/netiquette/>
- ・ インターネットを利用する方のためのルール&マナー集
<http://www.iajapan.org/rule/rule4general/>

6 . 部局図書館（室）を使う

OPAC 等で資料を見つけた場合に、駒場、総合図書館以外の部局図書館（室）が所蔵している事もあります。これらはキャンパス各所に点在し、利用方法（開館時間、入館方法、貸出方法、冊数、期間）が違います。事前に確認してから利用しましょう！



OPAC で「貸出中」の状態が表示されるのは、機械による貸出を行っている所だけです。

各図書館（室）の一覧（利用手続き、連絡先、ホームページへのリンク）

<http://www.lib.u-tokyo.ac.jp/koho/guide/guide-j-1.html>

東京大学附属図書館の利用案内（学内の方へ）

<http://www.lib.u-tokyo.ac.jp/koho/guide/gakunai.html>

地図・電話番号 本号 別色刷り地図

各図書館（室）の利用案内（冊子等）

本を借りる・返す、図書館の資料をコピーする（学部学生の場合）

借りる：「利用証」、「学生証」等各館で違います。

返す：借りた図書館（室）へ返しに行きます。

コピーする：セルフサービス式コピー機を利用します。

所属図書館（室）

自身の所属部局により、所属図書館（室）が決まっています。例えば前期課程学生は駒場図書館、3年で 学部に進学すると 学部図書館（室）です。専攻分野に直結した資料を中心に所蔵していますから、その分野の資料相談はこちらがお勧めです。

<所属図書館（室）で申し込みができること>

「利用証」の発行、更新

他の図書館への「紹介状」

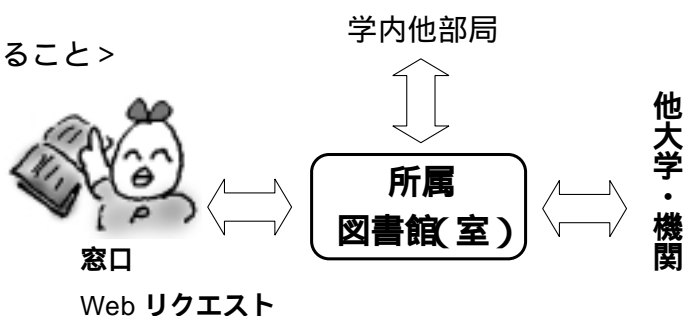
の発行

「Web リクエスト」登録、

更新

他キャンパス図書館（室）

他大学・機関等からの文献複写、資料の取り寄せ



教職員、大学院生の方が利用可能なサービス（学内校費文献複写依頼、キャンパスローン）の受付も所属図書館（室）で行っています。

7 . 学外の図書館を使う

東京大学の図書館（室）に所蔵していない資料を利用したいときは、他の大学図書館等での閲覧や、必要な部分の複写・現物の取り寄せができます。他の大学図書館等を利用したい場合は、まず所属図書館（室）（前期課程学生は駒場図書館）にお申し出ください。

閲覧

他の大学図書館や諸機関に出向いて資料を閲覧する場合には、所属図書館（室）が発行する紹介状が必要です。詳細は所属図書館（室）にお問い合わせください。なお、教職員・大学院生の方は、身分証明書・学生証により、他の国立大学図書館での閲覧ができます。

文献複写の取り寄せ

他の大学図書館や諸機関が所蔵している資料のコピーを、所属図書館（室）を通して取り寄せる事が出来ます。複写料・郵送料は利用者負担となります。申し込み方法等の詳細は、所属図書館（室）にお問い合わせください。

現物貸借

他の大学図書館や諸機関が所蔵している資料の現物を、所属図書館（室）を通して借用することができます。郵送料は利用者負担になります。詳細は所属図書館（室）にお問い合わせください。

海外の図書館等の利用

探している資料が日本国内の図書館に所蔵されていない場合は、外国の図書館利用のための紹介状発行や文献複写・現物貸借の依頼をすることができます。サービス内容・入手条件・支払方法等に制限のある場合もありますので、詳細は所属図書館（室）にお問い合わせください。

他大学図書館・他機関の所蔵を調べる

他大学図書館等で所蔵している資料は、WebCATで検索することができます。また、各大学図書館等で提供しているOPACでも検索ができます。

- ・ NACSIS WebCAT（国立情報学研究所提供）
（<http://webcat.nii.ac.jp/>）
- ・ 日本国内図書館 OPAC リスト（農林水産省研究情報センター提供）
（<http://ss.cc.affrc.go.jp/ric/opac/opaclist.html>）

8 . 図書館を使うときの Q & A

Q 駒場図書館や総合図書館は図書館利用証がないと利用できませんか？

- A 駒場図書館や総合図書館を利用するには利用証が必要です。万一忘れた場合は、学生証・身分証をご提示くだされば入館できます。貸出はできません。

Q 図書館利用証は駒場図書館や総合図書館以外でも必要ですか。

- A * 入館や貸出の際に利用証が必要な図書館(室)があります。詳細は各図書館のホームページをご覧ください。
(<http://www.lib.u-tokyo.ac.jp/koho/guide/guide-j-1.html#head>)
*「Web リクエストサービス」を利用するには、利用証に記載されている利用者 ID が必要です。このサービスを使うと、大学や自宅のコンピュータからいつでも、自分の利用状況の照会や貸出中圖書の予約、図書購入申し込み等ができます。

Q OPAC (オンライン蔵書目録) で探した図書が書架に見当たりません。

- A 駒場図書館・総合図書館の開架図書は、貸出中の場合 OPAC に「貸出中」の表示が出ます。予約するときは「貸出中」の表示をクリックしてください。そのほかに、他の利用者が閲覧している、返却されたがまだ書架に戻っていない、書架が乱れている等の場合があります。見当たらないときは、カウンターへご相談ください。

Q 学外からでも図書館の蔵書を検索できますか。

- A OPAC はインターネットや携帯電話を通じ、24 時間利用できます。
Web OPAC <http://opac.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/>
携帯電話 OPAC <http://mg.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/opac/i/>

Q 探している資料が東京大学にない場合はどうしたらいいですか？

- A * 他大学の図書館等の資料を閲覧する場合は、所属の図書館(室)が発行する紹介状をお持ちください。なお、教職員、大学院生等の研究者は、「身分証明書」、「学生証」により、他の国立大学図書館の閲覧ができます。
* 他大学の図書館や国会図書館等から図書を借用したり、コピーを取り寄せたりする場合は、所属の図書館(室)でお申し込みください。
* 駒場図書館や総合図書館へ備える図書の購入を希望する場合は、「Web リクエストサービス」の「図書購入申込」からお申し込みください。ただし、雑誌や市販ソフトのマニュアル等の申し込みは受け付けておりません。

Q 駒場の学生ですが、本郷の図書を取り寄せたり駒場で返却できますか。

- A 学部学生の方は、直接所蔵図書館(室)へ行かなくては貸出・返却ができません。教職員・大学院生の方は、所属の図書館(室)を通じて他キャンパスから図書を取り寄せたり、返却したりすることが可能です。

Q 図書館資料を紛失・損傷した場合は、どうしたらよいでしょうか。

A 速やかにカウンターへお届けください。

Q 週末に最寄りのキャンパスの図書館で勉強したいのですが。

A 駒場図書館・総合図書館とも通常、土曜・日曜日は開館しております。開館日やサービス時間については各図書館のホームページをご覧ください。

(<http://www.lib.u-tokyo.ac.jp/koho/guide/guide-j-1.html#head>)

図書館（室）ニュース

附属図書館展示委員会

1．東京大学所蔵博覧会関係資料目録 暫定版ができました

東京大学が所蔵する、国内外で開催された博覧会の報告書、案内書、博覧会をテーマとする研究書などのリストができました。附属図書館展示委員会が作製したもので、書誌事項・所蔵部局・請求記号付きで約3,000点を収録しています。附属図書館ホームページ「蔵書検索」欄の「東京大学オンライン目録全リスト」からご利用ください。

(<http://www.lib.u-tokyo.ac.jp/tenjikai/tenjikai2003/catalog/mokuroku.html>)

2．常設展が入替になりました

通例になった附属図書館の常設展、今回は土肥慶蔵元本学医学部教授旧蔵書のうちの「医学・本草」関係の和漢古書コレクション「鶚軒文庫（がっけんぶんこ）」です。有名な「解体新書」も展示しています。総合図書館3階へどうぞおいでください。

9. 東京大学で利用できる 文献収集に役立つ主なデータベース

文献・情報収集のためのウェブサイト

GACoS (Gateway to Academic Contents System)	・東京大学で利用できる、文献収集に役立つデータベースを紹介したリンク集	http://www.lib.u-tokyo.ac.jp/dl/gacos/
IRI (Index to Resources on Internet)	・学術情報として信頼できる Web 上のページを収集したリンク集	http://resource.lib.u-tokyo.ac.jp/iri/url_search.cgi

本・雑誌を探すデータベース

			学外 利用
OPAC	・東京大学が所蔵している図書・雑誌の蔵書目録データベース ・図書約 300 万冊と雑誌全件のデータを収録	http://opac.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/	
NACSIS Webcat	・全国の大学図書館などの蔵書目録データベース	http://webcat.nii.ac.jp/	
Webcat Plus	・書誌情報、内容・目次情報、所蔵図書館情報を公開 ・「理想検索機能」で必要な図書を効率的に検索可能なシステム	http://webcatplus.nii.ac.jp/	
ブックコンテンツ・データベース	・東京大学の図書館で所蔵している図書を目次中の言葉や内容要旨から検索	http://contents.lib.u-tokyo.ac.jp/contents/top.html	

電子ジャーナルを探す

東京大学で利用できる電子 ジャーナル検索	・東京大学で利用できる電子ジャーナルを検索できるデータベース ・現在、約 5,450 誌の雑誌が電子ジャーナルで利用可能	http://ejournal.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/	x
ScienceDirect	・エルゼビア社が提供する電子ジャーナルサービス ・1,700 タイトル以上の科学・技術・医学・社会科学分野のジャーナルの論文フルテキストの閲覧と、検索・アラート機能が利用可能	GACoS の "電子ジャーナル" からアクセス http://www.lib.u-tokyo.ac.jp/dl/gacos/	x

雑誌論文を探す

		1900	1980	1990	2000	学外 利用
FELIX 国内外の主要な学術論文の 目次データベース	雑誌記事索引データベース ・日本の学術雑誌に掲載された学術論文の目次データベース		1969			x
	SweetScan ・欧文を中心とした学術雑誌(約 14,000 誌)に掲載された学術論文の目次データベース				1995	x
	Periodicals Contents Index (PCI) ・人文・社会系の学術雑誌(約 3,500 誌)に掲載された論文の目次データベース		1800		1990	x

	学外利用	収録年代				
		1900	1980	1990	2000	
Web of Science	×	http://isiknowledge.com/	1970			
EBSCOhost 外国雑誌オンラインデータ ベース	×	http://search.epnet.com/		1985		
	×			1969		
LexisCom	×	http://www.lib.u-tokyo.ac.jp/dl/gacos/ utonly/golexis.html	1789 < 米国判例 >			
ASSIA Applied Social Sciences Index and Abstracts	×	GACoSの論文を探す”人文社会科学分野 からアクセス		1987		
MEDLINE	×	http://gateway.ovid.com/ autologin.html	1966			
Engineering Village2	×	・GACoSの論文を探す”自然科学分野か らアクセス http://www.lib.u-tokyo.ac.jp/dl/gacos	1970			
	×		1969			
BIOSIS Previews	×	http://isiknowledge.com/		1985		
SciFinder Scholar	×	http://www.lib.u-tokyo.ac.jp/dl/gacos/	1907 ~			
			(データベースにより異なる)			
東京大学学位論文データ ベース		http://gakui.dlitc.u-tokyo.ac.jp/	1957 < 書誌 > ~ 2001			
			1994 < 要旨 > ~ 2001			
ProQuest Digital Dissertations (PQDD)	×	http://www.lib.umi.com/dissertations/	1861			

10 .平成 16 年度春季附属図書館オリエンテーションのお知らせ

附属図書館と情報基盤センターでは、後期課程進学者の方、新しく図書館を利用される方を対象に図書館オリエンテーションを行います。この機会に是非ご参加ください。

総合図書館・情報基盤センター

「利用案内」、「書庫案内」はツアー形式で、117万冊の図書と2万5千種の雑誌を持つ総合図書館のサービス全体をご紹介します。「OPAC 入門」では、本や雑誌を探すための基本的なデータベースの実習を中心に、効率的に文献を探すための入り口である "GACoS (ガコス)" をご紹介します。

国連寄託図書館、欧州連合資料センターを兼ね、OECDをはじめ、その他の国際機関が刊行する資料を収集し、一般に公開している「国際資料室の利用案内」も行います。

情報基盤センターが実施する「データベース定期講習会 (DB 講習会)」では、各種データベースを使った文献調査のテクニックをわかりやすく解説します。4月15日と27日は英語で紹介します。

どなたでもご参加いただけます。時間までに総合図書館 1 階総合カウンター前へお集まりください。

月	火	水	木	金
4/5 DB 講習会 11:00 -	4/6	4/7 利用案内 9:30 - /15:30 - 書庫案内 10:00 - /16:00 - OPAC 入門 10:30 - /16:30 -	4/8 利用案内 10:30 - 書庫案内 11:00 - OPAC 入門 11:30 - DB 講習会 18:00 -	4/9 利用案内 13:30 - 書庫案内 14:00 - OPAC 入門 14:30 -
4/12 利用案内 15:30 - 書庫案内 16:00 - OPAC 入門 16:30 -	4/13 利用案内 9:30 - 書庫案内 10:00 - OPAC 入門 10:30 - DB 講習会 15:00 -	4/14 利用案内 10:30 - /15:30 - 書庫案内 11:00 - /16:00 - OPAC 入門 11:30 - /16:30 -	4/15 DB 講習会 (英語) 11:00 - 利用案内 13:30 - 書庫案内 14:00 - OPAC 入門 14:30 -	4/16 利用案内 10:30 - /15:30 - 書庫案内 11:00 - /16:00 - OPAC 入門 11:30 - /16:30 -
4/19 利用案内 9:30 - 書庫案内 10:00 - OPAC 入門 10:30 - DB 講習会 15:00 -	4/20 利用案内 10:30 - 書庫案内 11:00 - OPAC 入門 11:30 -	4/21 国際資料室 利用案内 10:30 - /15:30 -	4/22 休館日	4/23 国際資料室 利用案内 10:30 - /15:30 - DB 講習会 18:00 -
4/26 国際資料室 利用案内 10:30 - /15:30 -	4/27 DB 講習会 (英語) 15:00 -	4/28 DB 講習会 11:00 -	4/29 休 日	4/30

駒場図書館

新入生・進学生等ガイダンスの中で図書館の利用についてご紹介します。4月下旬、データベース講習会「駒場図書館情報検索講習会・入門編」を情報教育棟（駒場Iキャンパス）にて開催予定です。詳しくは図書館ホームページ（<http://lib.c.u-tokyo.ac.jp/>）よりご確認ください。

各学部図書館・学科図書室

殆どの各学部・学科では、新入生・進学生等ガイダンスの中で図書館の利用についてご紹介します。また、次のとおり図書館・図書室のオリエンテーションも予定しています。最新情報は以下 URL の各図書館・図書室ホームページで確認できますので、是非、ご参加ください。

<http://www.lib.u-tokyo.ac.jp/koho/guide/guide-j-1.html>

月	火	水	木	金
農・4月中、利用案内を専攻ごとの予約制で行います。 ・予約申し込みは情報サービス掛（内線25425）までどうぞ。 ・6月には、データベース講習会の開催を予定しています。 経・5月以降もライブラリーツアーは、各回6名先着順で図書館案内と各種データベースの簡単な説明を行います。 ・参加した学部生は、書庫に入ることのできる「書庫利用票」を発行します。 ・5月には、経済学関係データベース利用講習会の開催を予定しています。			4/1 社研 13:00 - 新入教官	4/2 理・物理 12:00 - 理・天文 12:00 - 学部 16:00 - 院生 理・生物化学 11:00 - 院生(修士) 14:00 - 学部
4/5 医 9:00 - 健康科学 看護学科 医 9:30 - 医学科	4/6 医科研 10:00 - /13:00 - 法 13:10 - 法科大学院	4/7 医科研 10:00 - /13:00 - 法 10:00 - / 13:00 - DB 講習会	4/8 医科研 10:00 - /13:00 - 法 13:00 - 総合法政研究科	4/9 医科研 10:00 - /13:00 - 経 15:30 - 院生
4/12 医科研 10:00 - /13:00 -	4/13 医科研 10:00 - /13:00 - 経 15:30 - 学部生	4/14 医科研 10:00 - /13:00 -	4/15 医科研 10:00 - /13:00 - 経 15:30 - 院生	4/16 医科研 10:00 - /13:00 -
4/19 医科研 10:00 - /13:00 -	4/20 医科研 10:00 - /13:00 -	4/21 医科研 10:00 - /13:00 - 経 15:30 - 学部生	4/22 医科研 10:00 - /13:00 -	4/23 医科研 10:00 - /13:00 - 経 15:30 - 院生
4/26 医科研 10:00 - /13:00 - 経 15:30 - 学部生	4/27 医科研 10:00 - /13:00 -	4/28 医科研 10:00 - /13:00 -	4/29 休日	4/30 医科研 10:00 - /13:00 -

【史料編纂所図書室】 4月上旬「新入所員図書室利用ガイダンス」、4月中旬「文学部進学生（日本史専攻）ガイダンス」を予定しています。

【海洋研究所図書室】 4月下旬「図書室ガイダンス」を予定しています。

落合卓四郎元館長を送る

附属図書館事務部長 笹川郁夫

大学院数理科学研究科教授の落合先生が、定年退官されました。先生は、平成11年4月から14年3月まで附属図書館長を務められました。就任当初「晴天の霹靂で館長に選出された」とおっしゃっていた先生は、3年間旺盛な行動力をもって全学的な視点から、学習・教育・研究のための学術情報環境の改善に力を尽くされました。

先生は、電子ジャーナルの試行実験の開始と新しい経費負担方式の採用を通じて、電子ジャーナルの本学への本格導入に道を大きく開かれました。また、新図書館電子化システムの導入によって、システム参加図書館・室の拡大とサービスの拡充を図られ、各種データベース等電子図書館サービスの充実にも、強力なリーダーシップを発揮されました。

総合図書館に関しては、図書の独自分類から標準分類への変換、開館時間の延長、書庫入庫資格の緩和、自動貸出機の導入など、図書館がより使いやすいものとなるよう、利用者の視点に立った改善策を次々と実行に移されました。

館長への就任は、ちょうど情報基盤センターが設置された年にあたっていました。ともに学内の学術情報基盤を支える施設・機能として、附属図書館と情報基盤センターとの連携と協力に、非常に心を配られました。平成13年に情報基盤センターでサービスが開始された携帯電話 OPAC は、先生の「携帯電話でなにか新しいサービスができないか。」という問いかけが開発の契機だったと聞いています。

柏キャンパスの教員・大学院生に対する図書館サービスを保障し、図書資料の保存とデリバリー機能を併せ持つ、柏図書館の

構想を練り上げられ、新図書館設置のための概算要求に陣頭指揮を執られたのも、落合先生でした。柏図書館は、平成14年度の補正予算で設置が認められ、構想の結実を見ました。平成16年10月の開館（予定）に向けて、現在準備が進められています。

先生は、学部学生と大学院生のための学習図書館機能の充実について、学内外のあらゆる機会を捉えて、強くその必要性を訴えられました。国立大学図書館協議会総会において「学生用図書費の充実のために、いまこそ館長が立ち上がる時である」と述べられた言葉は、全国の大学図書館長に強いインパクトを与えました。本学においては、平成13年度に総合図書館に対して情報系分野の学生用図書の緊急整備を実現して下さいました。

また、情報委員会のもとの情報政策専門委員会の委員長として、学内におけるIDの統一をはじめ、情報基盤にかかる政策にも手腕を発揮されたことは、記憶に新しいところです。

先生は館長任期中、国立大学図書館協議会の会長を務められ、全国の国立大学附属図書館の発展にも力を注がれました。電子ジャーナル・タスクフォースのメンバーとして、契約モデルとコンソーシアム形成について出版社との協議を重ねられました。一方、著作権特別委員会では大学図書館をめぐる著作権問題の調整に当たられるとともに、国際情報アクセス特別委員会では日米ドキュメント・デリバリー・サービスの実現に精力的に取り組みされました。

先生は、館長に就任されるや学内のすべての部局図書館・室を巡回され、現場の状況をご自身の目でご覧になり、図書館職員

の声に直接耳を傾けられました。その行動力とともに、常に職員とのコミュニケーションに意を用いられる姿勢には、敬服したものでした。

国立大学法人化を迎え、東京大学附属図書館は、全学図書財政基盤の確立や柏図書

館の開館準備等、なお多くの課題を抱えています。落合先生の成果を引継ぎ、さらに発展させながら、小宮山館長のもとで、よりよい図書館にしていく努力を続けていきたいと思ひます。

(ささかわ いくお)

落合元東大附属図書館長略歴

年 月	学内関係	学外関係
平成 11 年 4 月	附属図書館長、総合図書館長就任、蓮見総長と仏国立図書館視察	国立大学図書館協議会会長就任、国大図協各特別委員会委員長就任
5 月	学内全図書館(室)を訪問し、職員と懇談	「大学図書館における文献複写に関する実務要項 A(案)」承認
6 月		国立大学図書館協議会第 46 回総会を開催・全体統括(26～27 日) 会長として文部大臣への要望書を提出
8 月	「電子ジャーナル懇談会」を開催し、東京大学における電子ジャーナルの導入について部局代表者と懇談	
9 月	「東京大学における電子ジャーナルの導入について(中間報告)」刊行 (図書行政商議会・サービス特別委員会)	国大協第一常置委員会委員就任(1 日)
11 月		文部省大学図書館職員講習会講師「大学図書館の使命」(5 日) 日米ドキュメントデリバリー試行実験開始～平成 12 年 6 月)(国大図協) 外国出版社の雑誌価格政策(電子ジャーナル)のについて検討し、国大図協事務局と関東地区で対応を協議することを決定(平成 11 年第三回国大図協・理事会)
12 月	「電子ジャーナル導入実験概要」(案)を提出(図書行政商議会)	
平成 12 年 4 月	電子ジャーナル導入実験を開始(～平成 12 年 12 月まで)	2 月「実務要項 A(案)」に対して日本複写権センターから回答
5 月		「日本複写権センターからの回答」に対する回答作成(国大図協) 国立七大学附属図書館長名による要望書をエルゼビア社に提出
6 月		国立大学図書館協議会第 47 回総会開催・全体統括(23～24 日) 会長として文部大臣への要望書提出
7 月		14 日文部省大学図書館職員長期研修講師「大学図書館の在り方」
8 月		「コンピュータ、インターネット等を利用した著作物等の教育利用に関する調査協力者会議」(文部省生涯学習局)の清水座長(東京工大教授)と懇談(10 日)
9 月		国立大学図書館協議会に電子ジャーナルタスクフォース設置 「コンピュータ、インターネットを活用した著作物等の教育利用について」(中間まとめ)に対して、国大協(第七常置委員会)からの依頼で意見を国大協に提出(1 日)
10 月	東京大学情報委員会情報政策専門委員会(委員長)「東京大学における情報基盤ための提案(第一次案)」提出 総合図書館開架図書分類変更開始(～平成 14 年 8 月)	文部省大学図書館職員講習会講師「大学図書館の使命」

12月		第一回法人格取得問題に関する(国立大学)附属図書館懇談会参加(5日)
平成13年1月	東京大学情報委員会「東京大学統一ID検討部会」メンバーとなる	「日米両国における学術情報アクセスのための情報担当者会議」開催(国立大学図書館協議会・国公立大学図書館協力委員会主催1月31日～)
3月	「東京大学における「学習図書館機能」の充実」提出(図書行政商議会) 新図書館電子化システム導入	国公立大学図書館協力委員会に著作権問題拡大WG設置 国大図協・著作権特別委員会「著作権問題についてのアクションプラン」作成
5月	東京大学情報委員会「統一ID検討管理体制WG」座長就任(16日) 携帯OPAC(i-mode版)導入開始	日本複写権センターに「回答案」著作権問題についてのアクションプラン」提示
6月		国立大学図書館協議会第48回総会を開催・全体統括(27～28日)「今後の国際ILL/DDSの推進方策について」承認
7月		会長として文部科学大臣へ要望書提出 文部科学省大学図書館職員長期研修講師「大学図書館の役割」(10日)
9月		アメリカSPARCから連携について、イギリスCURLからInternational Scholarly Communication Forumへの参加について、国大図協として打診を受ける
10月	総合図書館利用規則改正(開館時間延長、入庫資格の緩和)	
11月	東京大学統一ID管理体制WG(座長)報告「東京大学ユーティリティーカードについて」を情報委員会へ提出(1日)	講演「国立大学図書館協議会の使命と課題」(講演会「学術コミュニケーション活動の構成要素の一断面」国立情報学研究所主催) 文部科学省大学図書館職員講習会講師「大学図書館の使命」(13日)
12月		NII-OCLCシステム間リンクの運用第一回協議(国大図協)
平成14年3月	電子ジャーナル導入実験と実験終了後の予算確保につき方向を決定 「柏図書館」の設置を概算要求(ともに図書行政商議会) 自動貸出し装置の導入(試験導入、平成14年9月本導入)	同上・第2回協議(ワシントン)(国大図協) 国大図協として、ISCA(International Scholarly Communications Alliance)へ参加決定

<お詫びと訂正>

前号 Vol.43, No.1(2004年2月号)の頁番号付に誤りがありました。
お詫びして訂正いたします。

誤	正
105 ~ 128	1 ~ 24

「附属図書館ホームページ」(URL: <http://www.lib.u-tokyo.ac.jp/>) もご覧ください。

編集室 だより

オリエンテーション特集号は駒場キャンパスの1年生、本郷キャンパスに進学した3年生向けに、本学図書館(室)を使う際の入門編として作りました。タイムリーな情報、詳しい説明などは掲示や、ホームページでお知らせしています。定期的に図書館(室)のお知らせをチェックしてください。なおこの冊子に書ききれなかったことがたくさんあります。近くの図書職員にどしどし質問をして図書館利用の達人になって卒業してください。

(羽野)

東京大学附属図書館報「図書館の窓」Vol.43 No.2(通巻416号)2004年4月1日発行

発行人 笹川郁夫 編集委員 委員長・内島秀樹 副委員長・佐藤千春

委員・萩谷静香・羽野敦子・梅沢耕助・森松富美子・胡内奈都子・高橋 努

東京大学附属図書館発行 〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1 電話 03(5841)2612